

めざそう 充実した道徳の時間！ 読み物資料を活用したローテーション授業

和歌山市立紀之川中学校



1 生徒への期待

- ・人間の多様な考え方や生き方への気づき
- ・自分をじっくりと見つめられる自己への成長
- ・人間としての生き方を真剣に考える力の育ち
- ・道徳的心情の育ちと道徳的实践力の向上

2 取り組んだ内容

- ・生徒の心に染み入る読み物資料を使った道徳の時間
- ・学級担任が持ち回りで道徳の時間を実施するローテーション授業
- ・外部講師による「人間としての生き方を考える」道徳特別授業
- ・道徳の示範授業や勉強会など楽しい学びを重視した教職員研修



3 取組から見えてきたこと

読み物資料を活用した授業から

- ・読み物資料の場面や登場人物の心情を想像する生徒が増えている。
- ・読み物資料の登場人物の生き方に触れ、自分の生き方を考える生徒が増えている。

ローテーション授業から

- ・先生方の授業準備の負担軽減を図ることができる。
- ・授業あとの授業展開や発問の見直しなど、授業改善につながる。

教職員研修から

- ・先生方の道徳の授業への苦手意識を取り除くことができる。
- ・先生方が道徳の時間の大切さを改めて実感するようになる。

4 ローテーション授業への生徒の声

- ・次はどの先生のどんな授業かなと考えたりするのが楽しみ。
- ・それぞれの先生の思いや考えが伝わってくる授業だから好き。
- ・先生たちのいろいろな考え方を聞けるので、自分の考え方も広がった。
- ・それぞれの先生との勉強でいっぱい考え、自分と向き合う大切な時間だった。